

物価高騰から暮らしと地域経済を立て直し 県民の命と健康を守る取り組みの強化を

達増知事に来年度岩手県予算に関する申し入れ

臨時
県議会

県独自の中小企業への賃上げ支援金を拡充 全国に先がけて物価高騰対策(55億円)うち出す



達増知事に申し入れる(左から)千田美津子前県議、斉藤県議、(右から)吉田恭子副委員長、高田一郎県議、菅原則勝県委員長(12月9日)

12月9日、達増拓也知事に対し2025年度岩手県予算に関する申し入れを行いました。内容は▽物価高騰から暮らしと営業を守り、地域経済を立て直す。新型コロナから命と健康を守る▽東日本大震災津波の復興▽県民の命と暮らしを守る新たな県政への3部構成です。斉藤県議は、最低賃金の引き上げ(時給59円)を中小企業が実際にを行うには、県の賃上げ支援金の継続実施が必要だと力説。「補助単価や対象人数の上限を引き上げるなど拡充すべきだ」と強調しました。また、「採算が取れない」「職員確保が困難」との理由で特養ホームの整備が進んでいないと指摘し、「介護崩壊」を防ぐために国庫負担の増額を要求してほしいと述べました。県立病院は今年度90億円の赤字の見込みですが、岩手だけでなく全国の民間・公立病院が減収と赤字に直面しており、政府に緊急対策を迫るべきだと提起しました。達増知事は「本質に迫る整理の仕方、重要な提案をしていただいた。来年度県予算の参考にさせていただきます」と回答しました。

2025年度県予算に関する申し入れの主な内容

- ◇中小企業等事業継続緊急支援金給付事業の復活
- ◇コメ不足対策、酪農・畜産農家への支援
- ◇県立病院の経営計画(2025-2030)を見直し、医師・看護師の増員で県立病院を拠点に地域医療の充実を
- ◇新型コロナ感染状況の正確な情報発信と感染防止対策の徹底
- ◇高すぎる国保税は協会けんぽの水準まで引き下げを
- ◇特養待機者の解消、低年金で入れる特養ホームの整備
- ◇第3子以降の学校給食費無償化の実施
- ◇保育料の第1子からの無償化をめざす
- ◇被災者の心のケア、いわて被災者支援センターの体制強化
- ◇気候危機打開へ省エネ住宅の整備、省エネ家電の普及促進
- ◇男女賃金格差の是正など、あらゆる場でジェンダー平等を

達増知事は「本質に迫る整理の仕方、重要な提案をしていただいた。来年度県予算の参考にさせていただきます」と回答しました。



小原医療局長(左)に紫波地域診療センターの存続を要請する会の皆さん(12月4日)

12月23日の臨時県議会で、県独自の賃上げ支援金を拡充し、時給60円以上引き上げた中小企業に従業員1人あたり6万円、最大50人分、300万円を支給する補正予算(19億4千万円、3万人分を想定)を可決しました。これまでの賃上げ支援金には、想定を上回る2896件(20414人分、10億2070万円)の申請がありました。

12月
県議会

4年連続全市町村で福祉灯油を実施 紫波地域診療センターの廃止を強行

12月県議会で、4年連続で全市町村での福祉灯油を実施する補正予算(3億9千万円余、11万2160世帯が対象)を全会一致で可決しました。「県立病院等の経営計画」(2025-2030)最終案が示され、その中身は、6年間で5病棟削減し看護師も120人削減、医師は、1368筆の署名を集め医療局長に緊急要請を行いました。斉藤県議は本会議で議案に対する質疑に立ち、紫波地域診療センターの廃止について、町議会の意見書を踏まえ医療局は地域住民に丁寧な説明すべきであり、廃止条例を強行すべきではないと厳しく指摘しました。また、「久慈地域医療を守る会」は、県立久慈病院の医師確保と機能の充実を求め7444筆の署名を添えて要請を行いました。

12月県議会で、4年連続で全市町村での福祉灯油を実施する補正予算(3億9千万円余、11万2160世帯が対象)を全会一致で可決しました。「県立病院等の経営計画」(2025-2030)最終案が示され、その中身は、6年間で5病棟削減し看護師も120人削減、医師は、1368筆の署名を集め医療局長に緊急要請を行いました。斉藤県議は本会議で議案に対する質疑に立ち、紫波地域診療センターの廃止について、町議会の意見書を踏まえ医療局は地域住民に丁寧な説明すべきであり、廃止条例を強行すべきではないと厳しく指摘しました。また、「久慈地域医療を守る会」は、県立久慈病院の医師確保と機能の充実を求め7444筆の署名を添えて要請を行いました。

県民と心ひとつに
日本共産党
斉藤 信の
県政報告

2025年1月 No. 190
発行: 日本共産党岩手県議団事務局
斉藤信事務所 TEL. 019(651)1241
〒020-0015 盛岡市本町通2-10-6
日本共産党控室 TEL. 019(629)6050
〒020-0023 盛岡市内丸10-1

斉藤信
ホームページ
saito-shin.sakura.ne.jp

斉藤信事務所
X(旧twitter)
@saitoshin_iwate

住みよい盛岡めざして 日本共産党

5人の市議団と力を合わせて頑張ります



庄子春治 高橋和夫 神部伸也 鈴木 努 三田村亜美子

はたやま和也 参院比例予定候補が街宣



12月7日、日本共産党の参院比例予定候補・はたやま和也さん(宮城県石巻市出身、活動地域:北海道・東北・北関東)が盛岡駅前街頭演説を行いました。はたやまさんは、物価高騰で中小業者や国民が苦しむもと、衆院選で自民党の裏金問題に怒りが広がり、臨時国会では共産党が「カネ」で動く政治を終わらせようと法案を提出し、他党とも協力していると紹介。消費税減税やインボイス中止を呼びかけ、550兆円に膨らむ大企業の内部留保への時限的課税は「理屈も実行可能性も十分にある」と述べ労働者の賃上げを訴えました。

小中高あわせ3052人—不登校が過去最多に



文教委員会で質疑に立つ斉藤県議(12月5日)

「授業が分からないう」など、詰め込みや管理、競争教育で苦しんでいる生徒の状況が示されていると指摘。子どもの多様な実態、声から不登校問題の解決にあたる必要があると述べた。

2023年度の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査の結果」が公表され、岩手県分が文教委員会で報告されました。いじめの認知件数は、7862件で前年度比394件減少、小学校では542件減少しましたが、中学校、高校、特別支援学校では増加しています。いじめ解消率は82.5%となっています。不登校児童生徒数は、小中高全体で3052人と前年度から46人増で過去最多に。小学校低学年での急増が特徴です。斉藤県議は、文部科学省の委託調査での不登校のきっかけについての回答では、「いじめ被害を訴えている」「仲の良い友達がいらない」「先生と合わない」など、いじめ、友人関係、教師との関係があること。また、「宿題ができなかった」「授業が分からないう」など、詰め込みや管理、競争教育で苦しんでいる生徒の状況が示されていると指摘。子どもの多様な実態、声から不登校問題の解決にあたる必要があると述べた。

子どもの多様な実態を踏まえた対応を求める

べました。また、あるフリースクールの調査では、不登校児童生徒の保護者の2割が離職しているとの報道を紹介し、ともに困難を抱えている保護者への支援の必要性も強調しました。

農業破壊の財政制度等審議会の建議

財務省の財政制度審議会が11月29日にまとめた建議では、「食料自給率の向上は不相当」「農業予算は減らすべき」「飼料用米はゼロに」「備蓄米の削減」「国民に支えられている農業の構造転換を図るべき」など、農業の役割を全面的に否定する異常な内容となっていました。



農林水産委員会で質疑に立つ高田県議(12月5日)

また、中山間地域直接支払制度の「集落機能加算」が来年度から廃止されようとしている問題も取り上げました。県内では、奥州市や西和賀町など7市町村・43集落・2千ヘクタールで取り組まれ、参加集落も増えていることから、制度の継続を求めました。

なっています。高田一郎県議は、農業破壊ともいえるべき財政制度審議会の建議について厳しく抗議すべきだと追及。県側は、「食料自給率の向上を過度に重視することは不相当」などとしており、農業者にとって厳しい内容となっている。今後とも農家が安心して営農できるように農業予算の増額など一層国に働きかけたい」と答えました。

県母親大会実行委員会の皆さんが県要請

12月24日、岩手県母親大会実行委員会は、第69回県母親大会



八重樫副知事(左)に要請する県母親大会実行委員会の皆さんと同席する県議員

重点項目として、◇全国の自治体の約3割が実施している学校給食の無償化を国に強く要請し、県としても施策を講じることを◇医師偏在により生じている地域医療格差を解消し、県内の無医地域(24地区)に対し県民の命と健康を守る医療政策を拡充することなどを要望しました。

12月県議会に提出された主な請願・意見書に対する盛岡選挙区選出県議の賛否 (○:賛成 ×:反対 欠:欠席)

案件	斉藤 信 (日本共産党)	上原康樹 (希望いわて)	小西和子 (希望いわて)	軽石義則 (希望いわて)	吉田敬子 (新国会)	高橋但馬 (新国会)	福井誠司 (自民党)	鈴木亜希子 (自民党)	高橋康介 (自民党)	小林正信 (公明党)	村上貢一 (県民クラブ)
医療機関の事業と経営維持のための診療報酬の再改定、補助金等の財政的支援を求める請願→一部採択(※1)	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	×	○
「給特法」(※2)の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める請願・意見書→採択	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	×	○
家族従業者の人権保障と女性の自立促進の支障となっている所得税法第56条廃止を求める請願→不採択	○	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×

※1 請願項目2「国による支援がない場合は、県として財政支援を行うこと」は不採択

※2 「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」

無料法律相談

(弁護士が相談に応じます)

1月15日(水) 午後6時

2月19日(水) 午後6時

予約電話番号: 651-5881

無料生活相談

毎週土曜日 10時~12時

場所: 斉藤信事務所

日	内容
11月9日	スポーツ環境を考える集い
11月14日	県立病院問題調査(久慈市副市長久慈地域の医療を守る会、久慈病院院長)
11月15日	県中小企業団体中央会専務理事等と懇談
11月18日	議連、議案説明会、県議会商工観光政策研究会意見交換会
11月19日	9条改憲「一屋アモ、県政要望を聞く会」
11月21日	県立病院問題調査(紫波町長、紫波町の医療と福祉を守る会緊急集会)
11月23日	全県地方議員研修会
11月24日	城東地区9条の会
11月25日	議連、県立病院問題調査(特養ホームにいやま荘施設長、紫波地域診療センター長)
11月26日	12月県議会開会、建設業協会盛岡支部との懇談会、懇親会
11月28日	不登校フォーラム
12月4日	本会議・一般質問(4日に議案に対する質疑)
12月3日	久慈地域の医療を守る会が知事・医療局長に県立久慈病院の医師確保を要請(7444筆の署名提出)
12月4日	紫波町の医療と福祉を守る会が知事・医療局長に紫波地域診療センターの存続と入院ベッドの確保を求める要請(1368筆の署名提出)
12月5日	文教委員会
12月7日	はたやま和也参院比例代表予定候補と盛岡駅前街頭演説
12月8日	木戸口英司選対解散式
12月9日	達増知事に2025年度岩手県予算に関する申し入れ、最終本会議、県議会文化芸術振興議員連盟公演会(滝沢篠木神楽)
12月12日	宮沢賢治記念館、花巻市博物館
12月16日	議連、議案説明会
12月21日	子どもと若者の居場所づくり「その役割と課題」シンポジウム
12月23日	議連、臨時県議会
12月24日	岩手県母親大会実行委員会対県要請

斉藤信のパワフル活動日誌